



宮町のイベントキャラクター  
みやっち

# 038PRESS vol.12



東六小の桜と音楽を愛でる会

今季の特集  
P2~P3

## 仙台東照宮で 6年ぶりの神輿行列

- P4……第4回まちで子育て／愛でる会に思う
- P5……第12回お宮町なるほどツアー
- P6……NEWS&TOPICS（地域情報）／第5回歴史コラム
- P7……東京余話 vol.07／第12回教えて浄圓房さん！
- P8……学校情報／がんじースタジオから／編集後記

特別折り込み  
東六小児童編集  
106プレス



編集

お！宮町地域情報編集局  
〒980-0012 仙台市青葉区錦町二丁目4番48号  
(東六コミュニティ・センター内)  
TEL 090-7932-5021(千葉) E-mail ohmiyamachi@gmail.com

お宮町・混む  
URL <http://omiyamachi.com/>



# 仙台東照宮で 6年ぶりの 神輿行列

今に続く仙台・青葉まつりは、仙台東照宮の仙臺まつりを受け継いだと言われています。江戸の頃、仙臺まつりは京祇園祭をはるかにしのぐとも言われ、天下三大祭と呼ばれました。この祭りは360年前から仙台つ子たちに誇りと夢を与え続け、現在の仙台東照宮の神輿行列（神輿渡御）へと受け継がれています。

昭和59年からは5年に1度行われているその神輿行列が、震災のため1年遅れて今年の4月20日に、6年ぶりに行われます。

## 奉祝大祭

4月19日（土）午前10時～

## 神幸祭（神輿渡御）

4月20日（日）午前11時～午後2時

東照宮⇨宮町通り⇨東六番丁小学校間を  
往復（約3km）します。



## 神輿行列の始まり

承応三年（1654年）3月、仙台東照宮は4年7ヶ月の日数と総工費小判二万二千四百四十三両（現在の貨幣価値で約30億円）を費やして落成しました。御神体は東帯木造坐像の徳川家康公で京の大仏師が製作、上野寛永寺最教院で開眼供養を行いました。神輿は3月6日江戸を出立し13日に現在の東六番丁小学校の地に到着、この地を「御旅宮」と称しました。それから3日間の遷座式、19日に社頭で喜多流二世十太夫らによる法楽の能が行われました。この時、藩主忠宗公は東照宮の祭礼を農家の繁忙期を考慮し9月17日とし、藩主在国の年に城下十八ヶ町の商人町に祭山車である山鉦を出すよう布令を発しました。これこそかつて仙台城下の「全土民」が熱狂した仙臺まつりの始まりでした。

藩主は東帯姿で東照宮を参拝、国分町の外人屋に入り、街路に「竹に雀」の紫の幔幕を張り、麻袴で神輿の行列を見たと言います。物語や狂言、歴史上の人物を題材に繰り出す山鉦1台の費用は大きいもので三千両を要したと言われ、多い時で70台に及びました。行列は総勢2600人を超す時代もあり、各町内からの趣向を凝らした山鉦と荘厳なお神輿が進むと、治道は興奮の渦と化しました。当時の権現町（宮町）では、お店のひきし下や縁側、土間は見物席や宿として貸し、女たちは赤飯、お煮しめの類を売り、一年分の小遣いが稼げたと言います。

御一新後、仙臺まつりは変遷し、神輿と山鉦は廃されましたが、神輿行列は大正10年（1921年）4月に再興、第二次世界大戦で再び中断され、昭和59年（1984年）からは5年に1度実施されています。

神輿行列は、現在でも360年前と同じく宮町通りを南へと行列し、東六番丁小学校の地にある「御旅宮」に一時安置され、再び仙台東照宮へと行列する行程で行われています。

（千葉 富士男）



## 復興への想い

仙台東照宮 高崎恒晴宮司

東日本大震災で石段の両脇に並ぶ石灯籠<sup>いしどうろう</sup> 34 基のうち 26 基が転倒するなど損壊し、唐門がねじれて柱が土台からずれたり、本殿を囲む透塼<sup>そんかい</sup>が一部枠から外れたり境内の至る所が被害に遭いました。

1 年 8 ヶ月を要した修復がようやく叶い、仙台東照宮ご遷座 360 年を奉祝して今年 6 年ぶりに神輿<sup>かみゆり</sup>の行列が行われます。神輿渡御の担ぎ手や稚児行列の参加者を募集していますので、是非ご参加ください。



御遷座 355 年奉祝大祭 神幸祭 平成 20 年 4 月

### 東照宮 から お知らせ

#### 神輿渡御の奉仕者、稚児行列の参加者を募集

\* 神輿渡御（大人神輿・子供神輿）の奉仕者、稚児行列の参加者（満 5 才から小学生の男女定員百名）を募集しております。

\* 神輿渡御奉仕者の装束一式（大人神輿＝白丁着・子供神輿＝半纏<sup>はんてん</sup>）は神社側で準備いたします。

\* 稚児行列は貸装束を使用しますので参加料 1 万円をご奉納いただきます。

\* 申込締切日 平成 26 年 4 月 10 日（木）



#### ◆問合せ・申し込み

東照宮社務所 〒981-0908 仙台市青葉区東照宮 1-6-1  
【電話】022-234-3247・【FAX】022-272-9852

#### 注釈

※1 神輿渡御の担ぎ手は古式にのっとり、烏帽子<sup>えぼし</sup>を冠り、白丁着<sup>かぶ はくちようぎ</sup>と呼ばれる白い装束を身まとい、半紙を折って両端に元結<sup>もとゆい</sup>をつけた「覆面<sup>おおいめん</sup>」と呼ばれる口覆ぎをして、白足袋に草履を履いて、もの言わず静かに神輿を進めます。

※2 祭山車・山鉦は当藩ではこれを渡し物<sup>わたもの</sup>と称し、民間でオマツリと呼ばれました。

※3 仙臺まつりは明治 4 年<sup>てんちようまつほうしゆく</sup>には天長節奉祝・翌 5 年には桜ヶ岡公園に遷宮した神明宮の奉祝・明治 15 年には青葉神社祭礼・20 年には戊辰、西南の役戦没者招魂祭へと受け継がれ、それぞれに山車が繰り出され大変盛況でした。そのうち青葉神社祭礼が現在の仙台・青葉祭りへと引き継がれました。



参考：三原良吉の著書「仙臺郷土史夜話」

## 神輿のおもいで

### 「重くて重くて…」

お神輿といえば「わっしょい!わっしょい!!」と練り歩くのを想像しますが、東照宮では、本殿から仮安置する東六小校庭までを、白装束、白い口覆い、黒い烏帽子<sup>えぼし</sup>のいでたちで静かに歩いて行きます。

6 年前、私は石段から石鳥居まで担いだのですが、重くて重くて…。特に前のほうが重く、まさに想定外の重さです。さらに、朱塗りの小橋（御神橋）や石鳥居のところでは幅が狭く、お神輿本体の幅くらいしかないのので、「力を合わせて」ゆっくりと進まなければなりません。

伝統のお神輿担ぎですが、近年は担ぎ手が少ないと聞きます。「力を合わせて、交替で、ずつつづけて」といった日本文化、ここでは地域の文化に触れる意味でもぜひ、今年の「神輿渡御」に参加されてはいかがでしょうか。

（担ぎ手として参加した加納さん）

### 「音のない…」

宮町に引っ越して間もないころ。買い物に出ていた主人から「面白いものが見られるから、デジカメ持って出ておいで。」と電話がきました。

言われたとおり宮町通りに行くと、そこには白い装束を着たたくさんの人が、綺麗なお神輿を担いで歩いていました。よく晴れた春の日。青空のもと、お神輿はしずしず進んでいます。皆、白い口覆いをして、かけ声もお囃子もありません。

とても静か…。（夢でも見てるようだなあ。）と不思議な気分になったのを今も覚えています。今年はあの厳かな時間を 6 年ぶりに堪能したいと思います。

（歩道から御神輿を見物した星さん）



#### 第4回

まちで子育て まち育て  
宮町は子育てしやすいですか？

## 「東六子育て サロン」へ ようこそ



### 「東六子育てサロン」

0から3歳くらいのお子さんを連れた親を対象に、毎月1回、東六コミュニティ・センターで行っています。

平成26年度予定

日時：毎月第4金曜日

(ただし、12月のみ第3金曜日)

9時30分～11時30分

※変更になる場合があります。あらかじめ確認下さい。

場所：東六コミュニティ・センター

2階、和室1・2

仙台市青葉区錦町二丁目4番48号

☎ 022(263)5311

問い合わせ：大友 陽子さん

(東六地区民生委員児童委員協議会  
主任児童委員)

☎ 022(223)5019

「こは広いので、のびのびできて良いですね。」と、おかあさん。20畳の和室が2間つづく「東六子育てサロン」には、座布団とおもちゃが置かれています。

「サロン」は、お母さんたちの情報交換の場としてスタートしました。現在、企画・運営にあたっているのは、主任児童委員の大友陽子さんです。「ここの特徴は、テーマやスケジュールを決めず、自由遊びを中心に行っているところです。後半に『おやつタイム』を入れて、リズムをつけるようにしています。テーブルもぶつかると危ないので置きませ

ん。申し込みは不要なので、気軽に来てほしいですね。参加費無料も魅力かな。親子がホッとできる時間になれば、と願っています。」

親子は10時頃から集まりだし、「元氣だった？」はじめてまして。」と早速おしゃべりを始めます。子どもたちは元気に体を動かしたり、おもちゃに夢中になったり。

11時前に東六番丁児童館の児童厚生員が来て、体操やお話をしてくれました。「いっぽん橋」の歌に合わせて、子どもはママの膝の上で伸びをしたり、紙芝居を見たりしています。

その後「おやつタイム」。2人の民生委員児童委員が、子どもたちにおやつ入りのバスケットとお茶を配ります。(本来「サロン」は主任児童委員2名で行いますが、ここ3年ほど1名欠員のため、民生委員児童委員がローテーションを組んで支えています)。この日当番のお二人は、約半年ぶりにサロンに来ました。「こないだはハイハイだったのに、もう歩くのね。」と、目を細めていました。雑誌しながらのおやつタイム。バナナを引っ張り出す子がいたり、ママ

におせんべいを口に入れてもらう子もいます。11時30分過ぎ、「そろそろお片づけをしましょう。」と大友さんが声をかけるころには、みんなすっかり顔なじみになっていました。ママたちにとけ込んでいる小林和恵保健師

(東六地区担当は「昨年からこの地域の担当になりました。こは自分

なりの子育てを受けてもらえらるから、居心地が良いの

う。」と、話します。

お子さんを連れてのんびり過ごせる私たちの「サロン」に、出かけてみませんか。



\*参加費無料  
運営費用は、東六地区民生委員児童委員協議会、東六地区児童福祉協議会、東六地区社会福祉協議会から提供を受けています。

## 愛 でる会に思う

～桜の樹皮と実行委員会～



仙台市立東六番丁小学校  
前校長 渡部 力  
わたなべ つとむ

毎年、校木のエドヒガンザクラは、美しい花を咲かせ、見る人の心をつかみ離しません。平安時代の歌人、在原業平の詠んだ一首「世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし」(古今和歌集)。桜に様々な思いを抱く日本人の心は、今も昔も変わりありません。

日本人が桜を楽しむ理由は諸説紛々です。「花は桜木、人は武士」に代表されるように、潔さをよしとする生き方。自然と一体化した生活様式や人生観。農作業と関係あるとする説等々です。桜前線という造語は、日本人の桜を愛でる国民性を象徴しています。

詩人の大岡信さんの「言葉の力」(中学国語2年光村図書)に学びました。染織家の志村さんのお話を孫引きします。桜色に染める糸の染料は、桜の花びらを煮詰めたものではなく、黒っぽいごつごつした皮から取り出すそうです。花が咲く直前のころの樹皮が、えもいわれぬ色の原料とのこと。大岡さんは、花びらのピンクは、幹のピンクであり、樹皮のピンクであり、樹液のピンクであり、桜の全身のピンクを先端だけに出したものにすぎないと言います。

今年も東六地区連合町内会を中心とした実行委員会が、「東六小の桜と音楽を愛でる会」を催してください。人づくり・まちづくりに掛ける実行委員会の熱い思いは、桜の樹皮に重なります。心の奥底からわき上がる思いが、催事となり、人々に感動と思い出の場を提供してください。確固たる理念は、枝や幹を支える根っこにも見えます。私もまた、お世話くださっている皆様に思いを寄せ、愛でる会を楽しみたいと思います。

さて、私は、3月末で定年退職いたしました。5年間、保護者と地域の皆様にご支援を頂き、ありがとうございました。今後とも東六小の子どもたちを地域でばぐくんでくださるよう心からお願い申し上げます。

東六コミュニティ・センター2階  
和室前のボードが目印です♪





# 第12回お宮町なるほどツアー 身近な商店街を巡る旅

今回のツアーは宮町通りと北四番丁通りの交差点界隈の3つのお店を巡りました。3名の読者参加とともに、和やかなツアーとなりました。宮町には多彩なお店があり、商店街としての懐の深さを改めて感じさせてくれました。

Juliet Love Cake

至 東照宮



北六番丁通り

北六小

ファミリーマート

宮町通り

北四番丁通り

ラビットピアノ教室

肴菜や楓~noir~

至 仙台駅方面

## 丁寧な指導がモットーのピアノ教室 ラビットピアノ教室



宮町でピアノ教室を開いて8年。指導する我妻里美さんは4歳でピアノを始め、常盤木学園音楽科を卒業後、武蔵野音楽大学に進学。ラビット不動産の奥に教室を構えました。「音楽が好きで、音楽以外は考えられなかったので迷わずこの道を選びました」と我妻さん。モットーは「とにかく基本をしっかりと教えることです。普通は1レッスンあたり30分程度の教室が多いのですが、ここでは45分間しっかり教えます。生徒募集中です!」

教室の他にも、演奏活動も積極的にこなします。毎月第4金曜日にNHKそばのウェディングバー銀杏坂にてコンサートを開いています(1ドリンク付2,500円)。是非足をお運びください。

「038 プレスを見た!」  
で ウェディングバー  
銀杏坂でのピアノライブ  
にてワンドリンク無料(通  
常 500円)

※ 4月1日~4月30日



営 10:00~20:30  
休 月曜  
住 青葉区宮町3-8-34  
ラビットビル1F  
電 022-225-7340



## こだわりの食材を確かな技術で 肴菜や楓~noir~



オープンは2009年秋。宮町に開店した理由は「年齢層が幅広く、活力に富んだ地域だと思ったからです」と店長の三浦さん。地元のお客さんが7割以上を占め、地元に愛されている和食の店です。落ち着いた雰囲気の中で、座敷は全て掘りごたつ式。旬の食材を確かな技術と経験で提供します。人気メニューは刺身ですが、宮町の阿部幸さんの醤油で漬けた焼き鯖、秋保産の有機野菜など、素材にもこだわります。

お酒は日本酒、焼酎、梅酒がメインですが、日本酒も山口県や高知県など、東北ではなかなかお目にかからないラインナップです。

「038 プレスを見た!」  
で 乾杯ビールをサー  
ビス(人数分)

※ 4月1日~4月30日



営 17:00~24:00  
休 水曜  
住 青葉区宮町3-9-27  
レゾナートル1F  
電 022-721-0517



## 幸せ運ぶジュリエットのバースデーケーキ

## Juliet Love Cake (ジュリエット ラブ ケーキ)



平成23年3月、樋口長英さんは、美味しいお菓子で人々を幸福したいと、学生時代を過ごした宮町にお店を開きました。素材にこだわり、手間を惜まず、美味しさを追求する姿勢は今も変わりません。ショーケースに並ぶケーキの品数が少ないのは、作り置きしないから。ショーケースの後ろは厨房になっていて、パティシエの繊細な手仕事を眺める楽しみもあります。誕生日や結婚記念日のオリジナルケーキも好評で、「もしもお子さんに喜んでもらえなかった場合は、全額お返し致します」という美味しさ保証が付いています。

「038 プレスを見た!」  
で 6種類のクッ  
キーからお好きな  
1枚をプレゼント

※ 4月1日~4月30日



営 11:30~20:00  
休 火曜日 第2、第4月曜日  
住 青葉区宮町5-2-7  
電 022-343-6229



### 次回のご案内

今回は旅籠町国際通りを巡ります。  
参加ご希望の方は、氏名・ご連絡先をご  
明記の上、faxにてお申し込みください。

**FAX: 022-223-7988**

フレッシュショップ魚市/あさかわふとん店/焼肉ホルモン百万馬力

とき **5月10日(土) 15:00 ~ 17:00** 集合場所 **七十七銀行宮町支店前**

参加費 **1,500円** 定員 **6名**



## 第8回東六小の桜と音楽を愛でる会

4月12日(土) 11:00～15:20 仙台市立東六番丁小学校 校庭

※雨天の場合は体育館で開催します。

地域内の学校の吹奏楽部や音楽家など、多彩な顔ぶれが出演する「東六小の桜と音楽を愛でる会」は、今年で8回目を迎えました。東日本大震災から3年が過ぎましたが、鎮魂と復興、そして地域内の方々それぞれの絆を確かめる会でもあります。

東六小学校の卒業生はこの機会に是非母校に脚を運んで、後輩たちに声をかけて下さい。(クラス会開催歓迎) 当日は本部席に同窓生受付所を設けます。



桜の下の  
演奏会です♪



出店も  
ありまーす♪

当日、ボランティアでお手伝いいただける方、大歓迎です。  
問い合わせ：実行委員会事務局 足利(☎ 022-225-4559)

## 6年生16名に温かい拍手!

### 東六小スクールバンド「卒業コンサート」

雪の残る2月16日、仙台市シルバーセンターにて卒業コンサートが行われ、保護者や地域の方々など200名近くが来場。クラシックや演歌メロデーなど12曲を演奏し、1年間の活動に感謝の意を表していました。



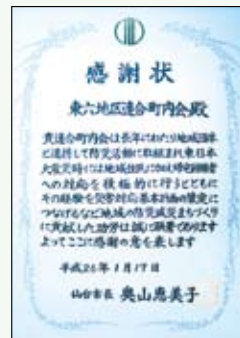
## NEWS & TOPICS

地域情報

## 防災ボランティア表彰 ～東六地区連合町内会～

1月17日、仙台市防災シンポジウムが開催され、その席上、仙台市長から東六地区連合町内会に感謝状が贈呈されました。

これまでの地域の皆様のご協力に、感謝申し上げます。



## 復興支援 新春コンサート

2月22日(土) 東六コミュニティセンターホールにて新春コンサートが開催されました。この事業は宮町・小田原地区の借り上げ民間賃貸住宅にお住まいの方々や地域の方々へ向け、東六地区民生委員・児童委員協議会主催による復興支援特別事業として行われました。当日は80人以上の方々が集まり、山形で復興支援活動をしているルリアルさんの演奏に耳を傾けました。会場では、地域の方のご協力のもと手編みの靴下やアクリルたわし・仙臺まころんにお茶など、おもてなしが用意され、また演奏に合わせ皆で声を合わせたり、素敵なオカリナ、キーボードの音色と皆の歌声がハーモニーとなって響きわたりました。



歴史  
コラム  
5

平泉の  
世紀

十二世紀の宮町邊ものがたり

近くの台原丘陵の一角には、「白水」という字がある。言い伝えによると、この地名は平泉の泉の字を二つに別けて名付たとされている。此処に白水神社がある。しかし社伝など正式な記録は何も残されていない。だが奥州藤原氏、当主秀衡の三男・忠衡の五歳の姫を守ったという乳母小萩の塚が、ここ白水の地にあったことが、明治末年の地図には記されている。

平泉と宮町邊の關係はこれだけではない。宮町から北東一里(四キ)の小田原丘陵に「安養寺」の地名が残る。この地所こそ平泉の巨大な財力で建立した、豪華絢爛な「安養寺」七堂伽藍(1130年頃の創建)があった処である。この安養寺を開山したのは、五歳の姫の母方の祖父である。その血縁から、「柳之御所」を逃れた(1189年)姫は、後に「安養院」を名乗り、ここ福澤の地に存命していたと伝えられている。



「安養寺」七堂伽藍があったと伝わる風景

ひっそりと寺院の復興を願い続けた姫は、平泉最後の姫君だったのだろうか。(あの日、藤原一族の男はすべて殺され、五歳の姫以外の女はすべて自害などしている) 姫の没年は二十歳であったという。別に没年は三十八歳とも、四十八歳とも伝えられている。

わが宮町邊に、曾て黄金の「平泉の世紀」があった。

(白川 律)

【付記】  
○奥州藤原氏は、平泉の「伽羅御所」へ移った1095年ころから、1189年までのおよそ百年間、宮町邊を含め、陸奥を政治域としている。(実際は磐城から青森までの、日本の約四分の一の広域を支配。)  
○平泉の政權は、安養寺など、およそ二万の社寺を創建している。  
○七堂伽藍とは、金堂・塔・講堂・鐘樓・經堂・坊堂・食堂の総称。現在、伽藍など何一つ残されていない。  
○なお宮町邊とは、わが宮町から一里四方の意で使用した。



おもてなし  
omotenashi

「東京は皆様を独自の方法でお迎えします。日本語ではそれを『おもてなし』という言葉で表現します。それは、見返りを求めないホスピタリティの精神。それは先祖代々受け継がれながら、現代の日本の文化にも深く根付いています。『おもてなし』という言葉は、いかに日本人が互いに助けあい、お迎えするお客様を大切にすることを示しています」

この印象的なスピーチを記憶している人も多いだろう。昨年9月、滝川クリステルさんが東京五輪招致のプレゼンテーションで使ったフレーズだ。手振りを交えた「お・も・て・な・し」は昨年の流行語大賞にも選ばれた。

話は3年前にさかのぼる。

東日本大震災が東北を襲った2011年3月11日、仙台駅にほど近い小学校に1800人の避難者が押し寄せた。備蓄米が650食だったことから、いかに想定外だったかが分かる。多くが他県からの旅行者だった。

体育館は人であふれ、座るスペースすらなかった。校舎を開放したもの、電気は止まり暖を取る術もままならない。寒さと不安が募っていった。

そんな中、地域のリーダーが駆けつけてきた。あふれる避難者を別の施設に引率し、町内会の投光器を学校に届けた。「明かり」がどれほど人々の不安を和らげたことが。

後に校長はこう話している。

「旅行者が多かった。家にも帰れない、家

族にも会えない。あるのは寒さと飢えだけ。その中で何をやるか、何を（仙台での）思い出として残してもらえるかを考えました」

夜になり、避難者にミカン大の握り飯が配られた。少ない備蓄米で作った夕食だ。これで空腹が満たされるはずはなかったが、学校ができる精いっぱいなの振る舞いだった。

滝川さんはスピーチで「おもてなし」を「見返りを求めないホスピタリティの精神」「いかに互いに助け合い、お迎えするお客様を大切にするか」と語っている。「お客様」を「避難してきた人々」と読み替えば、スピーチの精神が震災後の避難所で実践されていたことになる。しかも、極限の中、教員みんなで確認した言葉が「おもてなしの心で対応しよう」だった。

3度目の3・11が巡ってきた。この避難所を運営したのが私たちの東六番丁小学校と連合町内会だったことを記憶にとどめ、語り継ぎたい。困難にあつてユーモアを忘れず、「おもてなしの心で」と呼び掛けた同小学校長の渡部力先生、本当にお疲れさまでした。

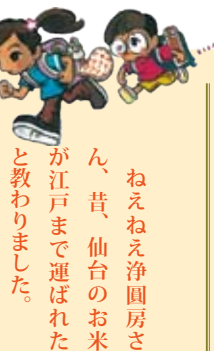


地域の人々が支えた東六番丁小の避難所運営  
(絵・がんじー)

## 第12回



## 桜と梅と藤の川



現在でも残っておるのう。1660年前後には、仙台領からの江戸廻米は年高15、16万石にも達し、江戸の米相場を左右するほど影響力があったんじや。

へえ、そうなんだあ！

我が街に流れている梅田川に注いでいた四ツ谷用水は、枝線を含めると総延長は約26kmにも及び、昔は雨水排除、生活用水、水田かんがい、産業、防火用水等として利用されたんじや。

年貢米や塩は石巻から貞山堀そして七北田川を経て梅田川へと船で運ばれた。蒲生から御舟入堀を経て苦竹米蔵に集められた年貢米を、鶴巻から現在の自衛隊のところまで堀を引いて荷をのせた船の両側を人がひいて歩いた。そこから陸路で、現在の榴ヶ岡公園前にある仙台第4合同庁舎の所にあつた原町米蔵に運搬するために使用した牛は、牛小屋があつた小田原で休ませた。ここから小田原牛小屋丁と言う街の名になった。



ばれたんじや。仙台領の歴史は、米を中心とした農村経済に依つて立つところが大きく、米の増産や運搬のための「貞山堀」、「孫兵衛堀」、「四谷堀」などの運河、水路が積極的に建設され、

梅田川へ注いだ四ツ谷用水は北六番丁を通りに沿って流れており、その用水の両側には桜が植えられ見事な桜並木となった。このため四ツ谷用水は、別名桜川と呼ばれて

いて、注いだ梅田川も別名藤川とも呼ばれ、桜に梅と藤、ならんで花の名前がついておつたんじや。

梅田川と四ツ谷用水は古くから仙台に住む人々の経済と生活に

大きく関わった大切な川だったんじやな。

へえ、そうなんだあ。船を人が引いたり牛がお米を運ぶ様子や、四ツ谷用水の桜並木も見てみたいね。本当だねえ。

※米一石は150kg、米1kg値段を500円とすれば一石で7万5千円となり、一万倍すれば7億5千万円になる。当時一石は、成人男子が1年間に食する米とされた。

出典 七十七銀行サイバー金融資料館 他

『浄園房さんとは』延寿院境内の浄園堂におられる「浄園房大権現」である。

いた僧侶で、羽黒の行者となり、草駄天のごとき走力を得、麦飯を釜にかけて、それが炊きあがらないうちに羽黒の羽黒山へ往復したという。

文・取材／千葉富士男  
イラスト／がんじー

| ◆東六番丁小学校  |                       |
|-----------|-----------------------|
| 4月 8日(火)  | 着任披露・始業式／入学式          |
| 4月 11日(金) | 交通安全教室                |
| 5月 24日(土) | 運動会                   |
| 6月(日時未定)  | 避難訓練・引き渡し訓練 ※連合町内会と連携 |

| ◆北六番丁小学校  |                  |
|-----------|------------------|
| 4月 8日(火)  | 着任式・始業式／入学式      |
| 6月 1日(日)  | 北六学区大運動会2014(予定) |
| 6月 16日(月) | 開校記念日            |

| ◆五城中学校               |      |
|----------------------|------|
| 4月 9日(水)             | 入学式  |
| 6月 14日(土)～<br>16日(月) | 市中総体 |

| ◆常盤木学園高校       |                   |
|----------------|-------------------|
| 4月 8日(火)       | 入学式               |
| 4月 28日(月)      | 音楽科コンサート ※イズミティ21 |
| 5月 15日(木)      | 創立記念式典            |
| 6月 7日(土)～9日(月) | 高校総体              |

今号の表紙画  
「東六小の桜と音楽を愛でる会」



樹齢 400 余年を誇る東六番丁小学校の校木「エドヒガンザクラ」のふとこに抱かれて、東六番丁地域ゆかりの演奏家たちの発表がこだまする一日。

あふれる若きエネルギーを地面から吸い上げ、古木は今年も凛々として咲き誇ります。  
(がんじー)

宮町のほっとスペース  
移転した新スタジオは、宮町通りに面しています。ガラス越しに道行く人がスタジオの中を覗いたり、下校途中の子どもたちが手を振ったり。  
「地域の人がより身近に感じます。」と嬉しそうながんじーさん。取材の日は、結婚記念に似顔絵を描いてもらおうとお客さんが来ていました。仕上がった似顔絵を手にお互いの顔を見ては「似てる似てる。毎年描いてもらいたいね。」と微笑んでいました。  
スタジオでは、似顔絵制作の他に、週1回似顔絵教室を開いています。生徒さんの作品が壁いっぱい飾られ、見ていて飽きません。「誰でも気軽に立寄りください。」  
がんじーさんの優しい人柄もあって、地域の人たちのホッとできるスペースになりそうです。



がんじーさん◆似顔絵作家  
似顔絵教室の講師や、038 プレスの表紙画も描く等、多彩な活動をしています。

〒 980-0004  
青葉区宮町 1-4-12 ☎ 022-395-7626  
営業時間／ 10:00～19:00 定休日／木曜日  
ホームページ <http://nigaoeya.client.jp/>

◆ SPECIAL THANKS ご協賛へ感謝を込めて



アエル株式会社 様  
仙台市青葉区中央 1 丁目 3-1  
TEL: 022-723-8000



積水ハウス(株)仙台支店 様  
仙台市青葉区一番町 4 丁目 6-1  
仙台第一生命タワービルディング 5F  
TEL: 022-722-3640

資産運用と有効利用のベストパートナー

株式会社マイザ 様  
仙台市太白区長町 3-4-16  
TEL: 022-247-9830



西松建設株式会社  
北日本支社 様  
仙台市青葉区大町 2-8-33  
TEL 022-261-8161

株式会社  
アサヒ建築設計事務所 様  
仙台市太白区長町 3-4-16  
TEL: 022-247-5230

協同組合みやぎ  
マルチメディア・マジック様

この情報紙は、地域の情報発信と共有を通じ、地域活性化につなげることを目的としたフリーペーパーです。この趣旨に賛同いただき、より多くの企業や団体、個人の皆様がご協賛を通じて事業を支えてくださいますよう、お願い申し上げます。

編集後記

発刊以来 3 年間、仙台市の助成金をいただきながら 038 プレスを発行してきました。また多くの企業が私どもの趣旨に賛同して、ご協賛もいただいております。今号で仙台市の助成金は終了しましたが、立ち上げ時の資金援助は大変有難いものがありました。「助成金が切れたら発行できなくなった」では、これまでのスタッフの努力が台無しになってしまいます。「自立」と「自律」を大切にしながら、これからも進んでいきたいと思います。

針生英一

編集局スタッフを募集します !!

取材や編集に興味のある方、文章を書くのが好きな方、一緒に情報紙を作ってみませんか! お宮町を盛り上げたいと思っている方、一緒にイベントを企画・運営してみませんか! 年齢・性別は問いません。初めての方も大歓迎。好きなことや特技を生かして、楽しみながらできることがきっと見つかります。まずは、お気軽にお問い合わせください。

お!宮町地域情報編集局  
〒 980-0012 仙台市青葉区錦町二丁目 4 番 48 号  
(東六コミュニティ・センター内)  
TEL 090-7932-5021(千葉) E-mail ohmiyamachi@gmail.com



<編集メンバー>

主筆／海老一朗 編集長／千葉富士男  
編集委員／遠藤真吾 加藤久枝 鹿野恵美子 加納実 加美山朋 菊池ゆう子 木村くみ 佐藤正二 佐藤広行 佐藤正則 佐藤靖  
矢戸俊彦 白川律 高橋孝敏 永田良治 針生英一 三岡昭博 和田政宗 (50 音順) 顧問／今泉清二 アドバイザー／内海睦夫  
イラスト／がんじー デザイン／針生奏子 星瑞枝 協力／東北工業大学 ライフデザイン学部